令和4年 新春のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、市政の推進に深いご理解と温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、本市においても公共施設の休館や飲食店への休業要請、生活にお困りの方や事業者への支援金の給付など、感染拡大防止に向けた取り組みや各種経済対策を講じてきたところであります。

9月に緊急事態宣言が解除されて以降、新規感染者数は少ない状態で推移しているものの、新たに変異株が発生するなど、依然として予断を許さない状況が続いております。引き続き、市民の皆さまの生命と健康を守ることを最優先に考え、ワクチンの3回目接種や市民生活の安定と経済活動の回復に向けた取り組みを進めてまいります。

昨年もさまざまな制約がある中、多くの市民の皆さまが地域活動に熱心に取り組まれ、さらには文化・スポーツなどのさまざまな分野において、すばらしい成績を収められた方など、多くの感動や元気を頂きました。

また、10月のプロ野球ドラフト会議において、木村大成さん、鈴木大和さんが市内初のプロ野球選手として誕生いたしました。プロの世界は大変厳しいと思いますが、ご活躍されることを期待しているところであります。

平成30年11月に北海道日本ハムファイターズの新球場構想が発表されてから3年が経過し、今年の12月には、いよいよ新球場が完成する予定となっております。

また、本市の顔となるにぎわいと交流を生む拠点づくりに向け、今春からJR北広島駅西口周辺エリアの整備に着手してまいります。本市の個性を生かし、快適な生活環境の形成に努めるとともに、将来にわたって着実に成長する魅力あるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、皆さまが安心して暮らせる社会に戻ることを切に願うものであります。

本年が市民の皆さまにとりまして、幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

北広島市長　上野正三

市長からの新春のごあいさつは動画で見ることができます。

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、新春を晴々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた教育行政の推進に深いご理解と温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、新たな「教育振興基本計画」に基づき、小中一貫教育全国サミットのデジタル開催や児童生徒1人1台のパソコンの整備、防災食育センターの新築や旧島松駅逓所大規模改修に向けた事業などの教育施策に取り組んでまいりました。

本年は、これらの成果を検証し、本市の教育環境のさらなる充実・発展に取り組んでまいります。

結びに、市民の皆さまのご健康とご多幸をお祈りし、新年のあいさつといたします。

北広島市教育委員会 教育長　吉田孝志